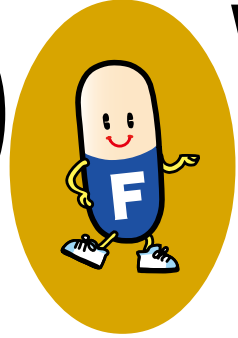


POWER!



2016年 11月 vol.48

平成28年(2016年) 11月20日発行
発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100 FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月(奇数月)発行

http://www.yakuren.jp

臨時評議員会が開催される!!

三年後の参議院選挙に組織内候補者擁立へ

平成28年9月14日「平成28年度臨時評議員会」が四谷スクワール麹町で開催された。

会長及び国会議員の挨拶

挨拶に立った山本会長は、夏の参議院選挙に対するお礼と、神奈川県薬剤師連盟が復帰したことなどについて報告した。



再選を果たした藤井基之参議院議員は、「衆・参併せて、医師23名、歯科医師6名、看護師6名、薬剤師3名、理学療法士2名、臨床検査技師2名の医療職がいる。歯科医師連盟は今回の選挙に候補者を立てなかったが、三年後には、組織内候補を擁立するだろう。組織内候補をどの様に育てて擁立するかが課題だと思ふ。なお、今般自民党の最終政策決定機関となっている総務会副会長を仰せつ

かった。今後とも、皆さんのために働く事をお誓いする。」と挨拶した。

とかしきなおみ衆議院議員は、自民党厚生労働部会長に就任したことを報告し、「国は社会保障費の伸びを自然増分五千億円に押さえたい方針だが、厚労省の要求額は6千4百億円であり、1千4百億円の超過となっている。また、厚労省は、患者のための薬局ビジョンをゴールとして示した。皆様の要望を党の政策に入れ、それを厚労省に指示を出して行くという流れを作りたい。私が提案し、藤井先生の総務会で了承されれば、先に進んでいくことが出来る。そして、地方においても若手薬剤師議員を育て、地方議会から政治家を育てていくことに力を貸してほしい。」と挨拶した。

議長及び副議長の選出

赤松議長事務代行者が仮議長となり、会議成立の宣言の後、議長に金安評議員、副議長に明石評議員が選出された。

重要事項の報告

石井副会長から、骨太の方針2016等について、尾島副会長から、本部・支部にかかる会則改正について、岩本副会長兼幹事長から、改造内閣について報告された。

議案の説明

尾島副会長から、平成27年度会務並びに事業報告の件、荻野副会長から、平成27年度収入支出決算報告の件が説明された。根本監事より、監事監査報告がなされた。

続いて岩本副会長兼幹事長より、今回参議院選挙結果の総括中間報告の件が説明された。

三年後の参議院選挙には組織内統一候補の擁立を

総括中間報告を説明した岩本副会長兼幹事長は質疑応答の中で、「候補者は、薬剤師で、出たい人より出したい人、地盤・看板・鞆が揃っている人」と述べ、「会長幹事長会議、ブロック協議会の中で活発な意見を出して戴き、早く決められれば、早く動ける」と、条件と選挙手順を示した。



山本会長は、「一票でも自民党内において多くの票が必要だ。薬剤師の言葉で話す薬剤師の国会議員を送り込みたい。三年後の選挙において、薬剤師を応援できるのは薬剤師であると思う。今までお世話になった方に対してどうするかと言うことはあるが、政治の世界は、義理と人情とやせ我慢と友人に言われた。義理と人情は欠かせないが、仲間内に十分に自分たちの主張が出来る人材がいながら、他の方ということとは日本薬剤師連盟の取るべき態度ではない」と述べ、採決及び協議の後、「三年後の選挙をやれ」というご意見であったと受け止めている。その候補については、皆様方とご相談して決めていきたい。そして、一つにまとまって仕事をしていきたい」と改めて決意を述べた。

採決

評議員会では、活発な議論の後、採決が行われ「平成27年度会務並びに事業報告の件」「平成27年度収入支出決算報告の件」及び「第24回参議院議員通常選挙結果総括中間報告の件」が、全て承認されて閉会となった。

風力計

高校野球への提案

10月20日にプロ野球ドラフト会議が行われました。



日本薬剤師連盟 副会長 尾島博司

履正社高校の寺島成輝投手がヤクルトスワローズに、また、横浜高校の藤平尚真投手が楽天イーグルスに一位指名された他、甲子園で活躍した多くの高校球児達がドラフト会議で、プロ野球球団から指名を受けました。

日本シリーズでは日本ハムファイターズの大谷翔平選手が投手・打者として活躍し、アメリカメジャーリーグでも、ダルビッシュ投手や田中将大投手など多くの甲子園経験者が活躍しています。

私も、高校時代は3番ショートで甲子園を目標にチームメイトと共に野球に熱中していました。私の卒業した高校は、まだ甲子園には一度も出場した事ありませんでしたし、卒業後もしていません。

チームメイトとは、甲子園に行くと、校歌を甲子園で流そうと、お互いに励ましあっていた。が、結局、夢に終わってしまいました。

その時からですが、甲子園で流れる校歌について思っていた事があります。

勝ったチームの栄誉を称え校歌が流されるのですが、優勝したチームの校歌は、6回聞く事が出来ますが、反対に、一回戦で負けたチームの校歌は流れません。出場した学校の半数が、甲子園で校歌を流す事が出来ずに帰ってしまいます。

私は、負けたチームの健闘を称え校歌を流し、決勝戦後のみ、準優勝高校、優勝高校の順に校歌を流せば、出場した全ての高校の校歌が甲子園で流れるので、出場した高校球児にとっても、良い思い出になるのではないかと考えています。

「来年また来いよーの声とともに、校歌を流してあげてほしい。」と言うのが私の提案です。如何でしょうか？

言わせて! 本音でtalk

マイオピニオン

政府は、厚生労働省は、日本薬剤師会は、私たち現場の話を聞いて決めたのか!?
聞かせて下さい!
あなたの意見・見解!

患者様に感謝されたこと

「日本」親切な薬局になる!」当薬局開設者のポリシーである。確かに当薬局は親切だと思う。どこでもやっている当たり前のことと言われればそれまでだが、雨が降ってくれば、手押し車ごと家まで車で送ってあげる。

荷物が多いと届けてあげる。道を訪ねてきた人に地図を伝えて説明。等々。誰でも気軽に使える古き良き時代の薬局の香りが残っていると思う。内科の処方箋主に受けているので、おのずから年齢層は高い。プライバシーがどうのというよりは、顔を近づけて耳元で大きな声で服薬指導。「あなたの声は大きくて聞こえやすいわ」とよく感謝される。にっこり笑顔で「ありがとうございます。」「よかった大きい地声で。さて、毎月1回お一人で来局されるご高齢のご婦人Tさん。アリセプトを服用しているが、本当に必要?と思うほどしっかりと受け心え。ただ主治医とのコミュニケーションが上手いかない時があるのか「先生は、変

わりないですね。としか言ってくれない」とぼやく。先日採血の結果用紙を渡されたが何も説明がなかったとのこと。結果用紙を見せてもらうとクレアチニンが少し高く貧血気味というだけで目立って悪い数値はなかった。

水分は摂っている(OK)。気候のいい日は自宅の回りを手押し車で散歩(適度な運動OK)。独りでの食事なので、ご飯にお漬物塩昆布が多い(これだな)。塩分摂取について説明。貧血が改善するよう鉄分や葉酸を含む食材・料理を当薬局で作成した用紙をお渡しし説明。「今はほうれん草のお浸しやひじきの炊いたんも小分けの冷凍食品でありますよ。息子さんお休みの時にスーパーに連れてってもらったら、見つけてね」自分の中では、いつもよりちょっと頑張った服薬指導といった感じだった。お迎えのタクシーが来て、転倒しないよう、軽く体を手を添えて誘導。その間にTさん、「ほんまにいつも親切にしていたら、私が元気で長生きできてるのもS薬局さんのおかげやし、話聞いてもらえるだけ

で嬉しいのに、ほんまありがとやで。」発車するタクシーを軽く会釈で見送る。当たり前のこととしてただなのに、こんなに感謝してくれる。ちょっと心が熱くなる。薬剤師やってよかったと……さあ頑張ろう!!

(和歌山県 E.Oさん)

私は、薬局に勤務して約3年目になります。私事ですが、平成10年春までは病院に勤務していました。平成になった当時、ほとんどの病院薬剤師は、調剤所の小さな窓口で患者さんにお薬を渡していました。たまたま内科医師からのお誘いがあり、心筋梗塞で入院された患者さんに薬の説明をし、その内容をカルテの所定の場所に記録し、医師、看護師との情報共有をする試みに参加しました。薬剤師の役割は、退院に向けて、患者さんやご家族に薬物療法の大切さをお伝えすることでした。重篤な疾患を経験したばかりの方々への服薬指導であり、ご本人もご家族も「お薬の話」によく耳を傾けてくれました。また、薬剤管理指導業務という言葉がない時代のことです。ボランティアに近い活動でしたが、患者さんの近くにいることの大切さと他職種の方との連携が重要であることを学び、忙しい中でも充実感を実感した良き思い出です(ご存知のとおり、今では誰からも信頼される病院薬剤師の重要な業務となっています)。

その後、お薬から離れることになりましたが、患者さんと話してみたいという思いが私の頭の片隅にありました。『できるだけ患者さんの近くで、さらにチャンスがあれば、私が育った地域の方々に対象にして「お薬の話」をしよう。』

再就職した会社で、たまたま私の地元にある薬局に勤務させていただき、現在に至っています。

薬局でのお薬の説明は、入院している患者さんに対する説明とは少し勝手が違っていました。病気のために入院し治療に専念している方と、日常生活を送る中で通院されている方では、お薬や病気に對する関心度も異なります。来局する患者さんは、医療機関を受診し、やっと診察、会計を済ませ、医療機関の外に出て、さらに薬局で待たされ、薬剤師の話を聞かないと、お薬が貰えない。多くの患者さんは、早く帰りたいと思っているのではないのでしょうか。薬剤師が「お薬の話」を準備したとしても、患者さんの受け入れ準備ができてないと徒労に終わるのではないのでしょうか。まず、患者さんが薬剤師を受容できる状況を作り出すことが重要であり、薬剤師以前に人としてのコミュニケーション能力の大切さを痛感させられます。

時々、「今日は薬剤師さんいい話を聞いた。」「初めて聞いた。納得できた。」「そして「ありがと。」「と言われ、にこやかに帰られる患者さんがいます。こんな時は私もホッとします。双方向性のコミュニケーションと情報提供が上手くできた時です。小さな感謝も

れませんが、薬局の薬剤師にとっては一番嬉しいことです。このような経験や信頼を積み重ねていくことが、本当の「かかりつけ薬剤師」に繋がると思っています。

先日のことですが、昔から私どもの薬局をご利用されている女性の患者さんが、どうも飲めていないということから、ご自宅を訪問してみました。2つの医療機関の異なる用法の薬がありましたので、お薬カレンダーにセットしておきました。2週間後、「薬が飲めません、相談に来ました。」と息子さんが来局されました。息子さんと相談後、私は医療機関の問題点を伝え、用法の統一と2医療機関の処方薬の1包化を提案し、了承していただきました。息子さんと連携できたことで服薬ができるようになりました。当然のことをしているだけなのですが、息子さんからは大変感謝されました。その後、

息子さんがお父さんの処方箋も持参され、私どもの薬局で調剤することになりました。

この患者さんは独居でした。薬局でお薬をお渡ししていると、このような患者さんが増えてくると実感します。薬剤師は調剤し、患者さんにお薬を手渡すことのできる人です。(薬を投げたりはしてませんよ!!)。服薬状況に不安を感じれば、医療機関やご家族だけでなく、ヘルパーさんなど介護関係の方とも連携し、病状の改善に繋がる安全な薬物療法が行われるよう、最善を尽くす必要があります。

何にしろ、薬剤師はものから入へ、薬局は地域の現状を踏まえて地域の医療提供施設として信頼される取り組みが必要な時代に突入しました。前向きに、地域の方々の健康を守る取り組みを始めましょう。

(高知県 K.Mさん)

今回は、『患者さんから感謝されたエピソード⑨』について
本連盟ホームページ「POWER読者アンケート」から、
どしどしご意見をお送りください。
(その他のことに対するご意見でも結構です)
<http://www.yakuren.jp/>

薬連ブース in 名古屋

10月9日(日)、10日(月・祝)に愛知県名古屋市で開催された日本薬剤師会学術大会にて、本連盟のブースを設置し、PR活動を行いました。もう恒例?となった鮮やかな藤井色の緑の法被に袖を通し、気合十分の連盟役員、そして、企画実行委員のメンバーが活動しました。

ブースでは、本連盟の歴史と活動をまとめた動画を上映し、また、本連盟機関紙「POWER!」を配布し、薬剤師に関係したクイズに答えてもらいました。



全国の会長・幹事長が大集合

10月20日(木) 15時30分より、紀尾井町にあるホテルニューオータニにおいて平成28年度第2回全国会長・幹事長拡大会議が開催された。冒頭、5月に開催された第1回会議以降に新たに就任された各都道府県の会長・幹事長の紹介が行われた。その後、山本会長より組織内統一候補として、今夏3度目の挑戦を果たした藤井議員の当選の報告と、先日名古屋において開催された日本薬剤師会学術大会への参加及び協力へのお礼が述べられた。

薬剤師職能の発展に尽くす

藤井もとゆき参議院議員より、薬学6年制になってから今年で10年が過ぎて、多くの薬剤師を送り出して来たが、国家試験の合格基準が変更され、実施された



ことにより更に合格者が増加してきた。今後も薬学・薬剤師職能の発展に尽くしたいと挨拶があった。

そして、議事に入る前に司会より指名があり、群馬県薬剤師連盟武智会長が座長を務めることとなった。最初に尾島副会長より参議院議員選挙前後の連盟活動を中心に会務報告が行われ、続いて手塚副幹事長より22日から千葉県船橋市において開催される「全国若手薬剤師フォーラム2016」の概要説明、荻野副会長より都道府県薬剤師連盟による「若手薬剤師フォーラム」の開催状況の報告がなされた。



モバイルファーマシーに助成を

石井副会長より「直近の政治課題について」として、①29年度予算及び税制改正要望②29年度医薬関係予算概算要求並びに税制改正要望③敷地内薬局の見解④財政制度等審議会について説明があり消費増税引き延しによる社会保障財源問題やモバイルファーマシーの助成など薬剤師会の要望を議員に理解してもらうためのロビー活動について説明がなされた。

敷地内薬局問題、大臣に直訴

敷地内薬局について日本薬剤師会の見解が資料で示され、公的な医療機関も含め病院が敷地内に薬局を誘致している事実が見受けられるが、これは厚生労働省の「門前からかかりつけへ、そして地域へ」との方針に相反する行為であり、患者のための薬局ビジョンの趣旨に逆行するものと言わざるを得ない。万が一にも「門前から敷地内へ、そして院内へ」とならないよう厚生労働大臣に直訴した。同時に、大病院も同様の傾向が伺えるため、文部科学大臣にも直接会って訴える予定と熱く語った。

組織内統一候補者の推薦依頼

その後、報告に対する質疑応答が行われ休憩をはさんで、岩本副会長兼幹事長より第24回参議院議員通常選挙結果総括中間報告について報告、次期参議院議員通常選挙について協議が行われた。「次回選挙では組織内統一候補を擁立し、そのための推薦候補者の選出を各ブロック総務に依頼し、それを受け選考委員会で検討し、来春の定時評議員会で決定したい」と説明があった。この件に関しては多くの質問、要望が寄せられ、その関心の高さが伺えた。最後に安東副会長の閉会の挨拶で2時間半に及ぶ会議が終了した。

「藤井もとゆき君と語る会」開催される!



全国会長・幹事長拡大会議に引き続き、18時30分から薬剤師会はもとより藤井議員を支援する各界より、600名を超える人々が集まり熱気に包まれた中、「語る会」が盛大に開催された。発起人である山本会長の挨拶で始まり、政界より岸田外務大臣、衛藤参議院議員、支援団体より健康保険政治連盟白川副会長、日本製薬団体連合内藤副会長、日本薬業政治連盟鹿日会長、日本の福祉を考える会

廣江会長より激励の言葉が送られた。続いて安倍内閣総理大臣からの祝電披露の後、藤井議員より御礼の挨拶があり、松本国務大臣の乾杯により懇親会が華々しくスタートした。会場はお祝いムードの中にも、藤井議員のこれからの活躍に対する期待で満ち溢れていた。そして瞬く間に懇談の時間が過ぎ、岩本副会長兼幹事長の中締めで散会となった。



豆知識 vol.8

選挙権年齢の引き下げ

注目された18歳選挙、そしてネット選挙

選挙年齢が20歳から18歳以上へと引き下げられた。本年7月10日の参議院選挙では、各政党が各々趣向を凝らして、ネットを活用した若者層へのアプローチ合戦となりました。報道では、いわゆるネット選挙と報じられ、ネット上で投票できると一見勘違いされがちですが、ネットを活用して選挙活動をして良くなったという事です。多くは一番身近なFacebookやツイッターによる活動が中心だったようです。

では、投票結果は…。全体投票率は54.70%でした。年齢別の全国平均は、18歳では51.17%、19歳では39.66%となり、高校などで主権教育を受ける機会が多かったためか、18歳の投票率が高くなりました。19歳で低かった理由として、教育環境も考えられますが、大学進学などで親元を離れながらも、住民票を移さず投票に行かない人がいることも影響しているようです。とはいつつも、39.66%が低いかと言うと、これまで20歳の投票率が20~30%台にとどまっていることから、決して低すぎるとは言えないのではないかと考えられます。つまり、30歳代より若い有権者の票をいかに伸ばすかが、今後の大きな課題ではないかとされています。



ファーマくんがゆく

日本薬剤師会 乾英夫副会長を お訪ねしました



復活した「ファーマくんがゆく」シリーズの第二弾として、今回は日本薬剤師会の乾英夫副会長をお訪ねしました。

ファーマくん：以下、ファーマ 初めてお目にかかります。日本薬剤師連盟のファーマと申します。本日は、乾副会長のいろいろなことをお伺いしたいと思っております。よろしくお願ひします。まず、担当される主な業務と意気込みをお聞かせください。

乾副会長 こんにちは、乾英夫です。どうぞよろしくお願ひいたします。日本薬剤師会では、組織・会員、生涯学習、一般用医薬品等、薬局製剤・漢方、年金、公衆衛生の各委員会と学校薬剤師、薬局薬剤師の各部署を担当させていただいております。全ての薬剤師が活動できる唯一の職能団体である公益社団法人日本薬剤師会に、全ての薬剤師が会員となって職能を発揮、活躍していただける組織をめざし、事業に取り組みたいと考えております。特に若い薬剤師が



乾英夫(いぬい・ひで)副会長
プロフィール

- 昭和53年京都薬科大学卒業。
- 薬局勤務を経て大阪府に薬局を開設。
- 平成26年6月より日本薬剤師会副会長。

その職能に誇り・夢を持っていただけるような。

ファーマ 先生の故郷を教えてくださいませんか。また、東京で薬剤師会の会務に携わっておられますが、業務やお付き合いにおいて、ご出身地との違いで戸惑うことがありましたら教えてください。

乾副会長 私の故郷は大阪市東南部の平野区平野です。現在は大阪市24区で最多の人口を有しベッドタウンの色合いが強いのですが、環濠集落から発展した古い家々と多数の神社・仏閣が存在する町並み、旧平野郷ゆかりの名所旧跡も数多く存在し、最近では「真田幸村(信繁)縁の地「平野区」としてPRしています。

大学生生活を京都山科で過ごした5年間以外の56年余りは大阪で暮らしておりますので、言葉遣いや微妙な表現の差による戸惑いは多少ありますが、テレビ等マスコミの影響で過去ほどではないと思えます。相手はどう思われているかはわかりませんが、特に業務においては、薬剤師職能の向上という共通の土俵、熱い思いがあるので、戸惑うことは全くありません。しいて言えば、本音も大事だがまず理念、建前が優先されることを頭に入れて業務にあたるよう心がけています。

ファーマ 先生の大学生活はいかがでしたでしょうか。思い出に残っていることを教えてください。

乾副会長 先日、京都薬科大学バスケットボール部のOB会があり、大学卒業以来久しぶりに参加できました。一つのボールを追って苦楽を共にした仲間は本当にいいものです。一気に学生時代に戻り大いに盛り上がりました。大学生活は体育館と下宿の往復と生薬の研究室でのコルペン洗いや溶媒を混合して抽出液を作成することの毎日でした。そのおかげで家内にも巡り会え

ました。
ファーマ 先生のご趣味を教えてくださいなんでしょうか。

乾副会長 スポーツ観戦と家内との美味しいものの食べ歩きです。時間がなく、もっぱらTV観戦ですがリオオリンピック・パリンピック、高校野球、プロ野球とさすがに寝不足になりながら応援しております。

ファーマ 先生は薬局薬剤師として長年にわたって地域で活躍されていますが、薬局薬剤師になられた経緯について教えてください。

乾副会長 祖父が薬種商で父が薬局薬剤師、私が三代目で、住居が薬局の2階、幼少の頃から医薬品等薬局アイテムの中で育ち、長男でもあり、薬学部に進学し自然と薬局薬剤師の道を進んだという感じです。卒業後2年間父の紹介で茨木市の本町薬局で顧客を大事にすることの大切さを学んだ後、父の薬局とは別の地域で薬局を開設して36年、薬局薬剤師に励んでおります。現在は家内が管理薬剤師となり地域のかかりつけ薬局として家業を守ってまいります。
ファーマ 薬局業務を通じて記憶に残ることなどを教えてください。

乾副会長 平成7年1月阪神・淡路大震災、平成8年7月隣接地堺市での0・157に

よる集団食中毒、平成21年5月新型インフルエンザ(H1N1)集団発生等において消毒剤、マスクを始め薬局アイテムの供給相談、正確な情報収集による対応に奮闘したことが強く記憶に残っています。災害パンデミック対策にマスクや消毒剤等を大量に備蓄し在庫の山となり、災害備蓄の難しさを実感しています。

ファーマ 日本薬剤師連盟に対する印象等はいかがでしょう。

乾副会長 平成12年から19年までブロック総務として3回の参議院選挙に係らせて頂きました。当時雲の上の存在であった諸先輩方から、薬剤師職能の向上には組織力、政治力を持つことがいかに重要で、そのためには連盟活動がいかに大切かを指導賜り、胸を熱くしたことを思い出します。現在の日本薬剤師連盟は、非常に組織化されており、女性や若い薬剤師が活発に活動に取り組んでおられると思います。全ての薬剤師への浸透はまだまだ不十分ですが、当時の私と同じく熱い思いをもって役員、委員の先生方は取り組んでおられます。

ファーマ 最後に、日本薬剤師会副会長として、今後もっとも力を入れていくことを教えてください。

乾副会長 地域の薬局薬剤師として取り組むべき課題は、

- 一. セルフメディケーションの拠点としての薬局機能の確立
 - 二. 地域包括ケアにおけるかかりつけ薬剤師職能・薬局機能の確立
 - 三. 地域住民の健康サポート薬局として、日々の薬剤師の活動強化等
- であり、これらに取り組みたいと考えています。

ファーマ 本日は、貴重な時間をさいいただき、また丁寧な説明をいただき、ありがとうございました。これからも薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。



もとゆき Report 藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士
自民党総務副会長・参議院議員
藤井もとゆき

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて

開会中の第192回臨時国会は、平成28年度第2次補正予算が可決・成立し、最大の関心事である環太平洋パートナーシップ協定(TPP)の承認案と関連法案の審議が衆議院の特別委員会で行われています。関係大臣の発言を巡って審議日程がずれ込むなか、会期内での成立を目指す自民・公明の与党と審議が十分でないとする民進・共産などの野党との間で駆け引きが続いています。

さて、厚生労働省は10月、「受動喫煙防止の強化について」とする、たたき台を公表しました。この中で、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2019年のラグビーワールドカップの開催を控え、スポーツを通じて健康増進に取り組む契機となること、世界保健機関(WHO)と国際オリンピック委員会(IOC)は、たばこのないオリンピックを共同推進することとして、近年の大会開催地は、公共の施設や職場について罰則を伴う受動喫煙防止対策を行っていることから、我が国においても、イギリスのように建物内を禁煙とすることが極めて有効としつつ、日本の現状も踏まえ、娯楽施設や飲食店等のサービス業については、煙の外部流出を防止した喫煙室の設置を可能とする考え方を提示しています。

このたたき台は「2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会各府省庁連絡会議」の下に設けられた「受動喫煙防止対策強化検討チーム」のワーキンググループが取りまとめたもので、今後、消費者団体や関係事業者団体等からヒアリングを行い、我が国の受動喫煙防止対策を近年のオリンピック・パラリンピック開催国と同等レベルにすべく、必要な法律案の国会提出を目指すとしています。

東京都では小池新都知事のもとで大会競技会場の見直しなどの議論がなされていますが、競技会場のみならず、通常時の2倍にも達すると見込まれる検体を24時間内に結果報告できるドーピング検査体制の整備など、解決しなければならぬ課題は数多く残されています。

編集後記

今年是不安定な気候と災害に悩まされ続けた気がします。本日に忙しく駆け抜けてきたのではないのでしょうか。調剤報酬改定で「かかりつけ薬剤師、かかりつけ薬局」という新しい制度、そして絶対に負けられない藤井選挙の戦いを駆け抜けました。

藤井選挙の結果が出ました。力不足の反省はありますがまさに「数は力なり」。政治はまさに票数という「数」で勝負が決まります。そして「継続は力なり」です。我々には失われた3年がありました。2度とあつてはならない。絶対に繋いでいかなければならないのです。薬剤師は政治に弱いといわれま

す。社会は政治で動いているということを伝えてきていなかったのではないのでしょうか。先達がどんな思いで今の薬剤師の地位を築いてきたか。伝え続けて、繋げていく努力をしてゆることが大事です。

3年後の参院選で国会に新しい薬剤師議員を送ることに全力を尽くすと。

「数は力 継続は力」あらためて問われます。(A.K)



広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 鳥海 良寛、大澤 泰輔
- 大原 整、榑方 陽子
- 近藤直緒、美根本 陽充